



松くい虫から貴重な森林を守るために

薬剤散布を実施します

薬剤散布は

どうして必要なの？

薬剤散布は、松くい虫による松枯れを防ぐために行っています。松を枯らす原因は「マツノザイセンチュウ」という体長1ミリに満たない小さな線虫。この線虫が松の樹体内で増殖し、水の通り道を塞ぐことで、松枯れを引き起こします。

そして原因となっているマツノザイセンチュウを健全な松に媒介し、被害をまん延させるのが「マツノマダラカミキリ」という昆虫です。健全な松を枯らす線虫、線虫を枯れた松から健全な松へ運ぶ昆虫、それぞれが役割を分担するという共生的関係があることで、松枯れの被害が広がっていきます。

薬剤散布には、松枯れの原因となる線虫・カミキリが健全な松への侵入を防ぐ効果があります。

能代の貴重な森林資源としての松林を保護し、強風、飛砂、津波といった自然災害から能代を守っていくため、ご理解とご協力をお願いします。

薬剤散布期間

6月中旬～7月中旬

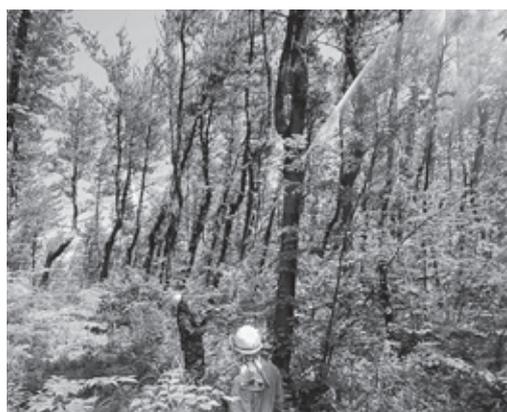
注意事項

- ・ 散布中は掲示板などで作業中であることをお知らせします。散布区域内には立ち入らないでください。また、食べ物や洗濯物を外に出さないようにしてください。
- ・ 散布区域内および周辺の青空駐車は避けてください。
- ・ 万が一、薬剤が体についた場合は、直ちにせっけんで洗い落としてください。薬剤は低毒性のもの（アセタミプリド液剤・チアクロプリド水和剤）です。

※住宅地や農地と隣接している松林は一定の距離を取って散布を行います。

問合せ

米代西部森林管理署 業務グループ ☎54・5511
 県山本地域振興局 森づくり推進課 ☎52・2181
 林業木材振興課 ☎89・2250



薬剤散布の様子